



高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認

大分県 佐伯市（国内20例目）肉用鶏

和歌山県 紀の川市（国内21例目）採卵鶏

【20例目】

農場所在地：大分県 佐伯市

飼養状況：肉用鶏（約1.4万羽）

疫学関連農場（ア）肉用鶏：約2.4万羽

疫学関連農場（イ）肉用鶏：約1.8万羽

- 12/9、大分県は死亡鶏が増加した旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。
- 同日、当該鶏についてインフルエンザ簡易検査を実施し陽性。
- 12/10、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。
- また、国内20例目農場と疫学的関連が確認された佐伯市の2農場についても、防疫指針に基づき、疑似患畜であることを確認。

【21例目】

農場所在地：和歌山県 紀の川市

飼養状況：採卵鶏（約6.7万羽）

- 12/9、和歌山県は死亡等の異状を示す飼養鶏を確認した旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。
- 同日、当該鶏についてインフルエンザ簡易検査を実施し陽性。
- 12/10、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

野鳥監視重点区域指定状況について

今シーズンは野鳥からも高病原性鳥インフルエンザウイルスが立て続けに検出されており、現在も4県5ヶ所が野鳥監視重点区域に指定されています。

都道府県	市町村	試料	H5N8確定検査	指定状況
鹿児島県	出水市	環境試料（水）	H5N8亜型	指定11/13
		野鳥糞便		指定11/17
新潟県	阿賀野市	環境試料（水） 野鳥糞便	H5N8亜型	指定11/25
和歌山県	和歌山市	死亡野鳥 （オシドリ）	H5N8亜型	指定12/3
岡山県	小田郡矢掛町	死亡野鳥 （ハヤブサ）	H5N8亜型	指定12/4

鳥インフルエンザ関係閣僚会議情報

鳥インフルエンザの発生を受けて、政府は関係閣僚による「鳥インフルエンザ関係閣僚会議」を随時開催し、今後の対応方針等を確認しています。12/9に開催された会議資料の内容の一部を以下に抜粋します。

○今シーズンの世界的な感染源は「H5N8亜型」

【専門家の見解】

5月の連休頃まで警戒が必要

- ◎ヨーロッパで流行したウイルスが渡り鳥の繁殖期にシベリアに運ばれ、渡り鳥の越冬地への移動に伴って日本に持ち込まれた。
- ◎ヨーロッパで流行しているウイルスも、病原性が特別に高いわけではなく、環境中のウイルス濃度が高く、感染事例が多い。

○発生農場の疫学調査結果

- ・発生農場の付近には、野鳥が飛来するため池やダム湖等が存在。
- ・飼養衛生管理の不備が農場にウイルスを侵入させる原因

	県名	衛生管理区域出入口			鶏舎出入口		野生動物対策	
		基準13	基準14	基準15	基準20	基準21	基準24	
		手指消毒・手袋交換が不十分	衣服・長靴の交換不十分	車両の消毒不十分	手指消毒・手袋交換が不十分	長靴の交換不十分	防鳥ネットの不備	壁・天井の隙間
1例目	香川県			●		●		●
2例目	香川県				●	●		●
3例目	香川県				●	●	●	●
4例目	香川県				●	●	●	●
5例目	香川県					●		●
6例目	香川県		●		●			
7例目	香川県	●	●		●	●		
8例目	香川県							●
9例目	福岡県			●	●			●
10例目	兵庫県			●	●	●	●	●
11例目	宮崎県			●	●			
12例目	宮崎県						●	●
13例目	香川県				●	●		●
14例目	香川県		●		●		●	●
15例目	宮崎県						●	●

飼養衛生管理基準遵守状況の自主点検をお願いします！

飼養衛生管理者は以下の遵守状況を自主点検し、再徹底してください。

- 1 **衛生管理区域**に立ち入る者の**手指消毒**等（項目13）
- 2 **衛生管理区域専用**の**衣服及び靴**の設置並びに使用（項目14）
- 3 **衛生管理区域**に立ち入る**車両の消毒**等（項目15）
- 4 **家きん舎**に立ち入る者の**手指消毒**等（項目20）
- 5 **家きん舎**ごとの**専用**の**靴**の設置及び使用（項目21）
- 6 野生動物の侵入防止のための**ネット等の設置、点検及び修繕**（項目24）
- 7 **ねずみ及び害虫の駆除**（項目26）